



アクチリンク GT9X クイックスタートガイド

アクチジャパン株式会社

アクチリンク GT9X クイックスタートガイド

1. ご使用の前に

アクチリンク GT9X の起動、ダウンロードにはソフトがインストールされたパソコンが必要です。ソフトのインストールに関しては別途取扱説明書を参考にしてください。

2. 使用開始準備

器械を充電してください。充電が 80 %以下だとイニシャライズ（起動）できないのでご注意ください。

- 充電に必要なもの

アクチリンクの充電にはドックというインターフェースが必要です。ドックはシングルドックと 6 ポートドックの 2 種類があります。



シングルドック↑



6 ポートドック↑

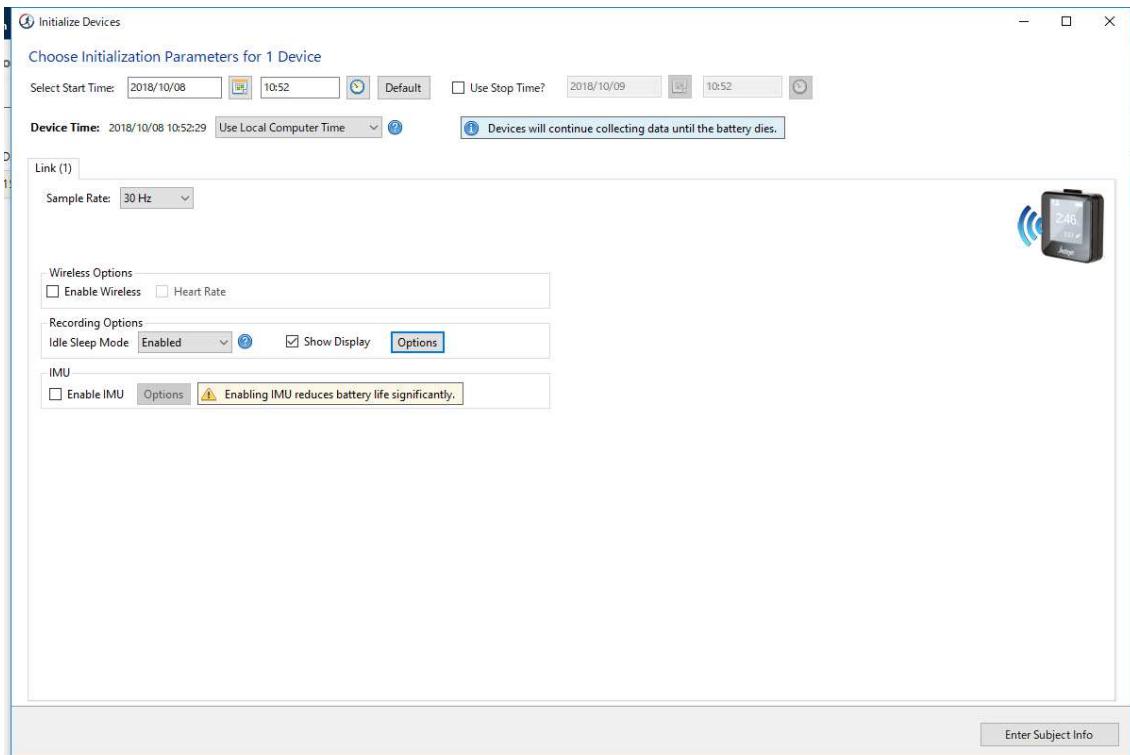
*6 ポートドックのご使用の際には必ず外部電源をご使用ください。

- ・ドックを付属の USB ケーブルを使用してパソコンにつなぐか、USB 電源に接続します。
- ・ドックにアクチリンクを挿入します。充電中は LED が黄色に点灯します。充電が 100%になると LED が緑色に点灯します。ソフト上では充電のパーセンテージを確認することができます。

3. イニシャライズ（起動）方法

アクチライフソフトバージョン 6.11.5 以降のソフトを立ち上げて、ドックとパソコンを接続して、器械を認識させてください。

画面左上、Initialize アイコンをクリックすると以下のような画面が現れます。通常は Regular Initialization を選んでください。**バッテリーが 80%以上充電されていないとイニシャライズできません。**



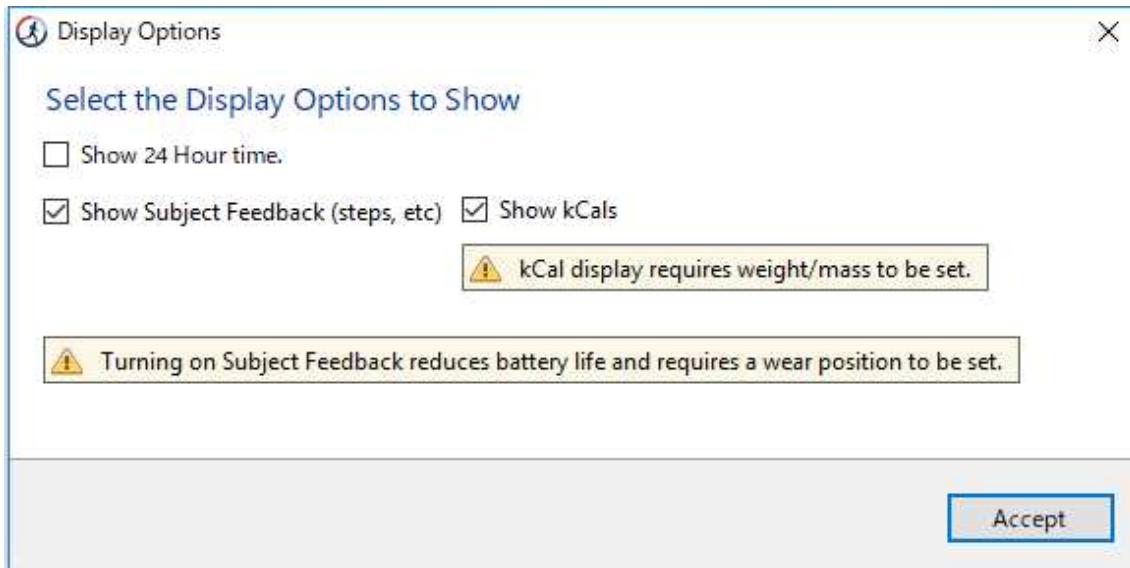
- ・画面左上時刻設定で起動させる時間を選んでください。
- ・任意の時間に計測を中止する場合には Use Stop Time をクリックして、計測中止予定時間を入力ください。Use Stop Time を使用しなければバッテリーがなくなるか、メモリーがいっぱいになるまで計測を続けます。
- ・エポック変換（1秒から 240 秒まで）を希望される場合サンプリングは 30 Hz をお選びください。 **40 – 100 Hz データはエポック変換ができません。**

Recording Option: Idle Sleep Mode をクリックすると、動きを 10 秒以上感知しない時に 30 Hz のサンプリングを 1 Hz のサンプリングに変えて電池寿命を延ばします。動きを感じるとすぐに 30 Hz にサンプリングを戻すので、アウトプットされるデータには影響は

ありません。

*生データをご使用されるお客様は Idle Sleep Mode は Disable を選んでオフにしてください。

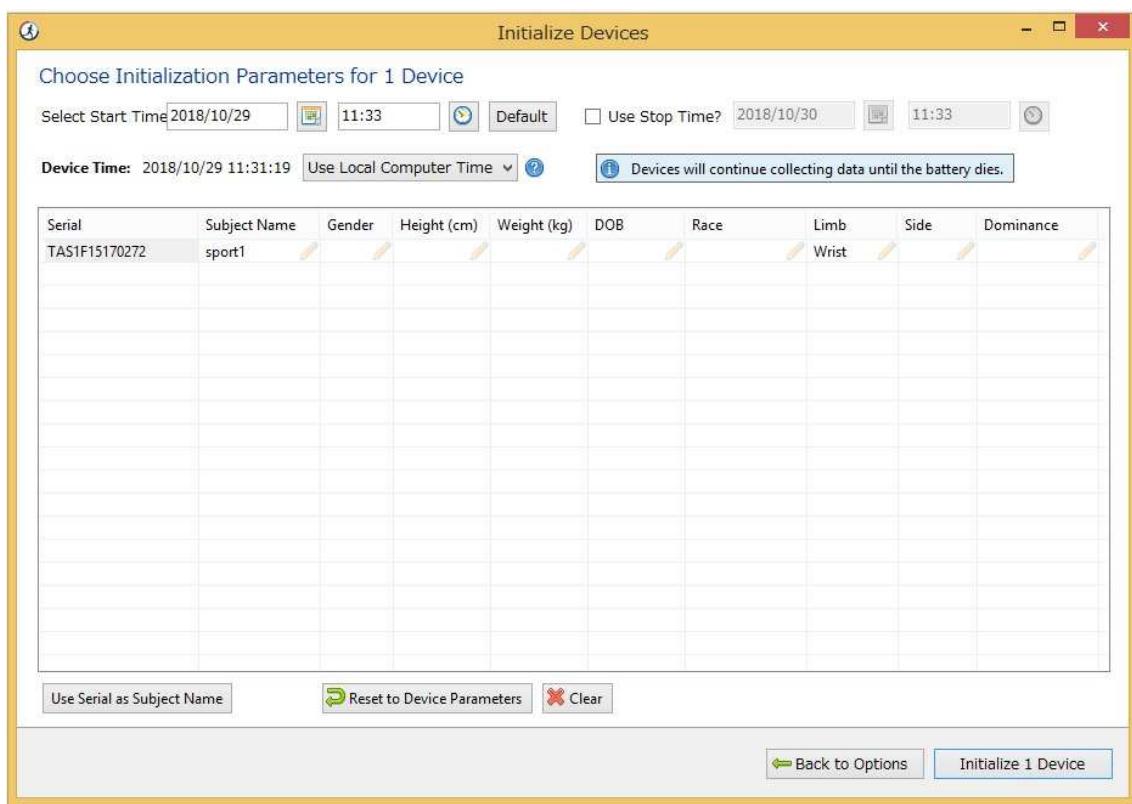
Show Display: これをクリックすると、LCD 表示をオンにします。オプションをクリックすると以下の画面が出てくるので、表示内容を選択できます。時計表示（12 時間、24 時間）と、歩数、カロリー消費の表示の有無を選べます。



IMU 機能: IMU をオンにするとジャイロセンサー、温度計、セカンド加速度センサー、地磁気センサーの測定を開始します。サンプリングは 100Hz です。

*IMU をオンにすると電池寿命が大きく短縮されます（最長 40 時間程度）ので十分ご注意ください。

以上を選んだあとに、画面右下、Enter Subject Information をクリックしてください。



起動するのに必須の情報は Subject Name と装着箇所の Limb になります。他の情報はデータのダウンロード後に入力することができます。

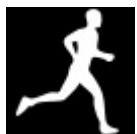
Show Display の設定で ShowkCals を選んで LCD 画面にカロリー消費を表示させることを選んだ場合は体重の入力が必要になってきます。すべての情報を入力後、Initialize One Device のアイコンをクリックするとイニシャライズ完了します。

* 装着箇所 Limb の選択は一度選択すると変更ができないので十分ご注意ください。

* アクチリンクでうまくイニシャライズが完了している場合、起動までの待機時間には以下ののようなアイコンが LCD 上に表示されています。イニシャライズ後にこのマークが表示されなければ再度イニシャライズしてください。



測定中には LCD 上に以下のようなアイコンが表示されます。



4. 装着に関して

イニシャライズが完了した後に器械をドックから取り出し、装着用のベルトに器械をはめ込んでください。手首に装着の場合は上下方向に注意して、時計が見やすい方向に装着してください。



・加速度の測定を正確に行うためには手首、腰にかかわらず緩まずにしっかりと装着する必要があります。緩く装着すると加速度は実際のデータより低く出る傾向がありますのでご注意ください。

- ・睡眠測定の場合：アクチグラフは非利き腕にきつ過ぎず、ゆる過ぎることなく装着下さい。
- ・機器は生活防水になっています。シャワーや手洗い等は問題がありませんが、お風呂は外してください。

LCD モニター上のアイコンの意味



Halt mode 電池がないかタイマーで計測を止めている状態です。



歩数が表示されています。毎日午前0時に数値はリセットされます。



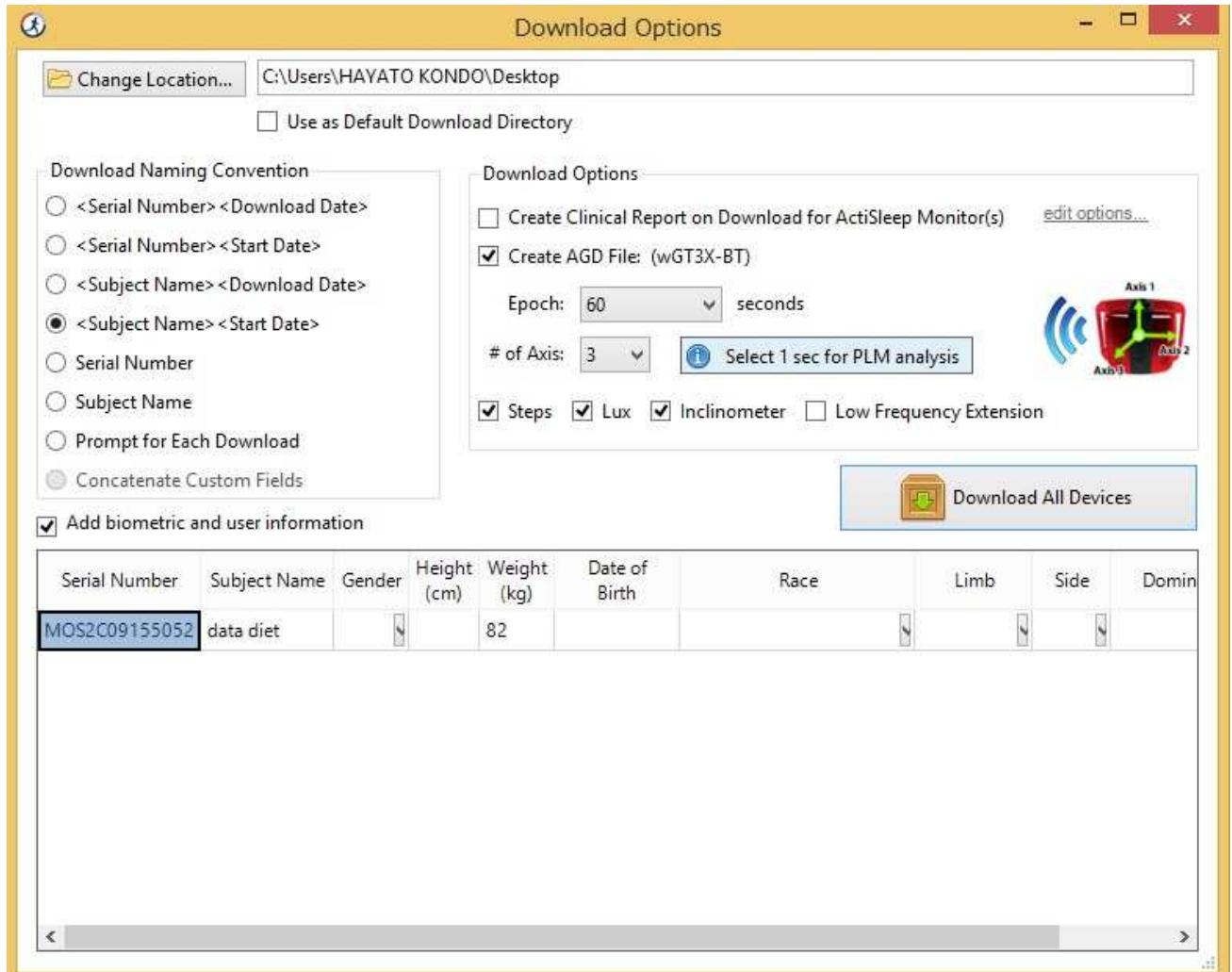
ワイアレスの機能が使用できる状態になっています。



リセットモード 電池の充電が極端に低くなった時。

5. ダウンロード方法

アクチグラフを接続すると、ソフト上に器機が認識されます。画面上ダウンロードボタンを押すと以下のような画面が現れます。



ソフトをインストールすると、マイドキュメントフォルダーの中に ActiGraph というフォルダーができています。その中に ActiLife というフォルダーがあり、さらにその中に Downloads というフォルダーがあって、デフォルトではそのフォルダーの中にダウンロードしたデータが保存されます。任意のフォルダーにダウンロードをする際には Change Location でフォルダーを選んでください。

1. ダウンロードする前に保存データファイルの名前を決めますが画面左上のいくつかのコンビネーション（シリアル番号とダウンロードした日付等）から任意の組み合わせを選んでクリックしてください。ファイルの名前はダウンロード後に変更することができます。
2. Create AGD ファイルがクリックをされているのを確認後、データのエポック数を選んでください。30 Hz 生データだけが必要な場合には Create AGD ファイルのクリック

を外してください。

3. ダウンロードするデータの軸数を選んでください（3-1）。
4. 必要なアウトプットデータを選んでください。Step（歩数）、Lux（照度）、Inclinometer（体位）。
5. 身長、体重等被験者情報に入力しますが、これは後で入力することも可能です。これらを入力しないでダウンロードをする際には、Add biometric and user のクリックを外してください。

6. データに関して

*ダウンロードフォルダーには同じファイルの名前で2つの異なる拡張子のファイルが保存されます。拡張子が.GT3X の赤いアイコンが 30 Hz の生データ、.AGD の拡張子がエポック変換されたデータです。

*Low Frequency Extension は、通常 0.25Hz 以下周波数の加速度は拾わないバンドパスフィルターを、もう少し低い周波数も拾えるようにします。これを使用したデータを学会発表や文献投稿される場合は、Low Frequency Extension を使用した旨を報告する必要があります。

*このマニュアルでは簡単に起動からダウンロードまでを説明しています。解析については別途日本語簡易マニュアルか英文マニュアルを参照ください。

アクチジャパン株式会社

問い合わせメールアドレス : kondohayato70@gmail.com